

学習状況調査の結果から

吹田の子供・教育の強み

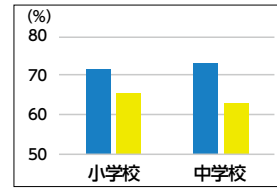
右記の結果から、全国と比較して吹田の子供たちには、自ら問いを持ち、解決に向けて情報収集したり、他者と協働して学びを深めたりするなど、主体的に学び、表現しようとする姿が見られます。

学習指導要領がめざす「学習者中心の考える授業」が、それぞれの学校で展開され、子供に力が育まれつつあると考えています。

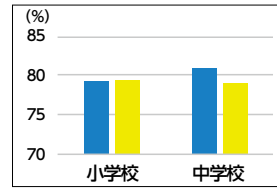
今後も、1人1台端末を積極的に活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、資質・能力の育成をめざし、さらなる授業改善を推進します。

肯定的な回答をした児童・生徒の割合

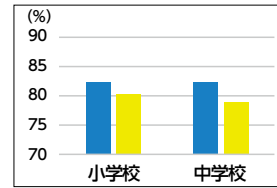
Q. 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している



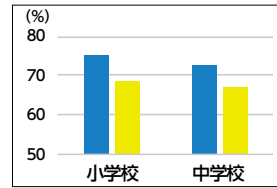
Q. 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



Q. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる



Q. 自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っている

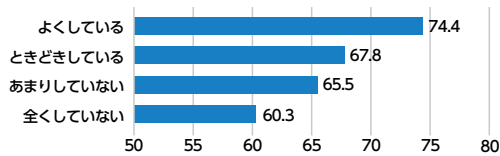


吹田の子供たちにつけたい3つのチカラ

各グラフは、具体例として抜粋したものです。詳細は、教育センターホームページで確認できます。

自分で計画を立てるチカラ

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」と小学校算数の正答率 (%)

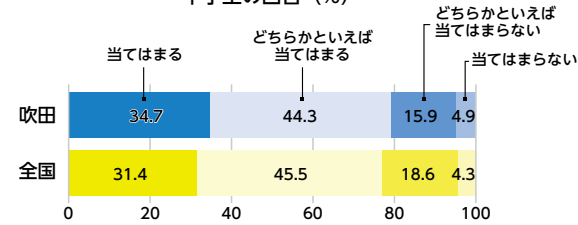


(中学校数学、小中学校国語、理科にも同様の相関関係が見られます)

質問に肯定的な回答をした児童・生徒は、学力調査の正答率も高くなっています。自分の立てた目標を達成するために必要な自己管理能力を身につけるため、自ら計画を立てる力を育成する場を意図的に設定することが重要と考えています。学校生活の中でも、総合的な学習の時間において、課題を見つけ、個別に立てた計画を進めていく経験を積み重ねています。

自分との違いを認め合うチカラ

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」への中学生の回答 (%)

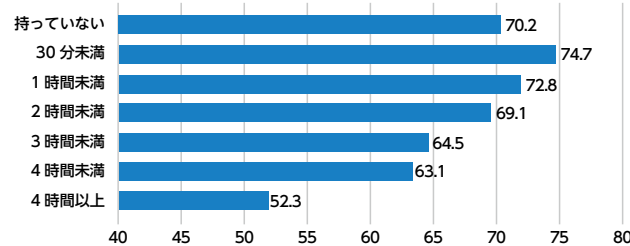


7～8割の児童・生徒が、自分と違う意見について考えることが楽しいと感じています。他者を受け入れて共感する力や、違いを豊かさに変える力が、これからの時代に求められており、教科学習だけでなく、特別活動、総合的な学習の時間、学校行事など、学校における教育活動全体を通して育んでいきます。

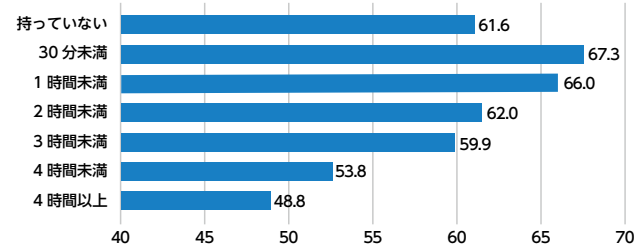
メディアバランス※1について考え行動するチカラ

※1 健康的な生活を送るために、メディア(新聞、書籍、ラジオ、テレビ、インターネットなど)の利用と、睡眠や食事、趣味、家族の時間などを、バランスよく両立させること(経済産業省「STEAMライブラリー」より)

1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをする時間と小学校算数の正答率 (%)



1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをする時間と中学校数学の正答率 (%)



(国語、理科にも同様の相関関係が見られます)

携帯電話やスマートフォンを持つ児童・生徒について、SNSや動画の視聴時間が少ないほど、学力調査の正答率が高くなっています。デジタル社会において、デジタルメディア(インターネット、SNS、動画視聴など)を利用することが、当たり前の状況になっており、それらとどう向き合っていくかを児童・生徒自身が主体的に判断する力が必要です。

市では引き続き、すべての小中学校で「デジタル・シティズンシップ教育」に取り組み、SNSや動画視聴、読書に関わらず、あらゆるメディアの利用時間などについてウェルビーイング※2の視点から考える時間を設けていきます。また、保護者や地域のみなさんにも、ともに考えていけるよう発信していきます。

※2 幸福で充実した人生を送るために必要な、心理的、認知的、社会的、身体的な働きと潜在能力(国立教育政策研究所 平成29年4月19日発行 OECD生徒の学習到達度調査 PISA2015年調査国際結果報告書「生徒のwell-being」より)

教育理念

今 吹田から未来の力を
いのち 生命かがやき ともにつながり
あす ひら 未来を拓く吹田の教育

第75号 教育だより

令和4年(2022年)12月1日 発行 吹田市教育委員会 朝日町3 6155・8063 6155・8077

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善や学校における教育指導の充実、学習状況の改善などに役立てる目的で実施しています。4月19日に市内公立学校の小学6年生3233人、中学3年生2726人を対象に実施された同調査の結果の概要をお知らせします。分析の詳細は、教育センターホームページで確認できます。

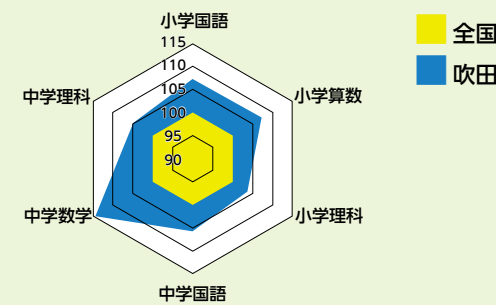
教育センター(出口町 6388・1455 FAX 6337・5412)



教育センター
ホームページ

学力調査の結果から

【教科別正答率の全国比】(全国平均を100としています)



吹田の子供のチカラを伸ばすために

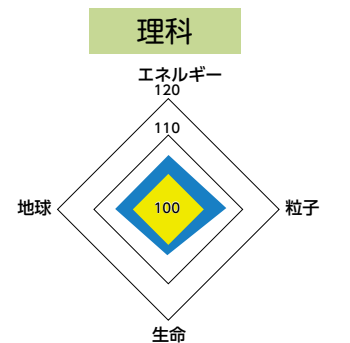
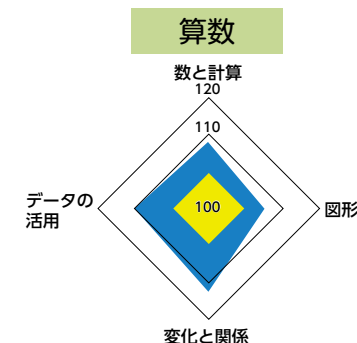
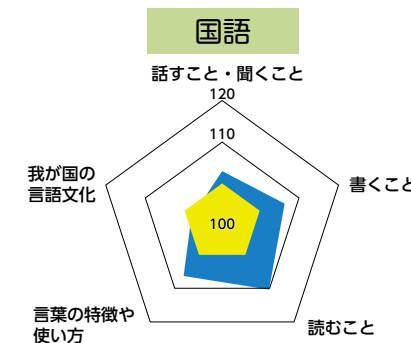
市の平均正答率は、小中学校ともにすべての教科で全国値を上回りました。

市では、今回の調査結果を詳しく分析し、課題の見られた項目については、学力調査と学習状況調査との相関関係を分析し、課題を解決するための今後の取り組みの方向性を決めました。今後も、より確かな学力の獲得をめざして、授業改善に努めます。

【領域別正答率の全国比】(全国平均を100としています)

各教科の領域別正答率のグラフで全国値を下回る領域だけでなく、上回る領域についても設問ごとに見ると、課題の見られるものもありました。それらの課題に対する手立てなど、詳しくは教育センターホームページで確認できます。

小学校



中学校

